

# 第35回スキルアップ研修会

2015/6/7

TKPガーデンシティ仙台勾当台

1. NPO法人ふあるま・ねっと・みやぎ10周年の報告とこれからの活動  
～食品の新機能性表示制度と薬剤師の役割～  
特定非営利活動法人ふあるま・ねっと・みやぎ理事長 戸田 紘子
2. 「今、薬局に求められていることは何か」  
公益社団法人日本薬剤師会副会長 生出 泉太郎 氏

## 報告(コメント)

第35回目となるふあるま・ねっと・みやぎのスキルアップ研修会は、およそ30人の出席者を迎え、理事長の戸田紘子先生、日本薬剤師会副会長の生出泉太郎先生の講演会が行われました。

講演1として戸田先生からは 昨年10月に設立10周年を迎えたNPO法人ふあるま・ねっと・みやぎのこれまでの活動と、本年2月に行われた10周年記念事業についての紹介がありました。次いで、4月にスタートした「食品の新機能性表示制度」の概要と数々の問題点を指摘し、薬剤師は、新機能性表示食品の安全性・有効性、医薬品との相互作用などに常に注意し、生活者を健康被害から守る情報提供者として期待されるようになりたいと強調されました。

講演2として、生出先生は、「今、薬局・薬剤師に求められていることは何か」というテーマで、薬剤師が現在直面している様々な問題点について言及し、これからの薬局・薬剤師に期待されていることについて、客観的なデータをもとにお話しされました。2025年・2035年問題に向けて、保健医療の再構築、地域包括ケアシステムの構築が緊急の課題であること、そして日本で医薬分業が実現した歴史を興味深く説明されるとともに、今その再評価と規制緩和が進んでいることを指摘されました。このような状況の中で今後地域薬局に求められていることは、セルフメディケーションの推進や地域包括ケアへの寄与など、健康情報拠点としての機能であることを説明されました。

講演終了後、富永さんの司会のもと、ふあるま・カフェと称した情報交換会が行われました。若い薬剤師たちから積極的な質問があり、生出先生のお考えをお伺いしました。今、薬局に関わる様々な問題が取りざたされるなかで、今後の方向性と薬剤師の将来を考える大変よい機会となったと思います。  
(平澤典保 記)

